



### 大学の講義を体験 — 2年生学部学科研究会 —

8月1日に、2年生を対象に「学部学科研究会」が行われました。大学・短大の講義を通して学問や研究の概要を知り、高校卒業後の進路を考えるヒントにすることを目的としたもので、今年で14回目になります。

事前に実施した受講希望調査をもとに14講座を開設し、県内外の大学・短大から講師を招いて90分間の講義を実施しました。



当日の様子1

講義の最初は緊張していた生徒たちも、次第に講師の話に引き込まれ、熱心に講義を受けていました。

今回の研究会を行うにあたって、多くの講師の方々にご協力いただきました。講師の方からは、「熱心に聴いてくれて、来て良かったと思った」、「質問が少なかった、質問するスキルを早いうちに身に付けたほうがよい」というような感想をいただきました。

講義で学んだことをさらに深めて、今後の進路学習に積極的に活かしていきましょう。



当日の様子2

### 受験勉強も後半戦 — 得点力強化に模式の活用を —

夏休みが終わり、3年生の受験勉強もいよいよ後半戦です。今後の受験勉強は、これまでに身につけた基礎力を「得点力」に高めていくことが目標です。

そのために必要なのが入試レベルを見据えた問題演習です。教科によっては、すでに入試問題を使った演習

を授業や補習・添削指導で行っています。また、志望大学の過去問題集(赤本)に取り組んでいる生徒もいます。

これに加え、自宅学習としてぜひ取り組んでほしいのが模式問題の復習です。模式は本番を想定しているので、問題の復習はそのまま本番での得点に直結します。とりわけ正解できなかった問題は自分の弱点を補強する格好の教材です。試験後に配布される「解答解説」には解説が詳しく掲載されているので自習にも適しています。

これからの時期、焦っているような教材に手を出すのではなく、「今あるものを見極めてきちんと仕上げる」ことが大切です。その際、常に自分の間違いや理解が不十分な箇所を明確にしておくことが得点力を高める近道です。

### 12月までの主なスケジュール(3年生)

9月	センター試験・出願準備
10月	センター試験・出願 各大学で一般入試の「募集要項」配付開始 *推薦入試志望者は小論・面接の直前対策
11月	推薦入試の出願&実施が本格化 併願校の選定と受験プランの作成
12月	三者面談 センター試験直前対策

### 出来はどうだった? — 7月進研模試 結果届く —

7月に実施した進研模試の結果が届き、その個人成績票が各クラスで配られたと思います。今回は、

1年生「初めての模試で全国レベルを実感する」

2年生「志望校選択の第1歩を踏み出す」

3年生「秋以降の学習課題を明確にする」

をテーマに、個人成績票を次の点から分析することで、今後の勉強に生かし、次回の模試に備えましょう。中央高校生の到達目標は、記述模試で7割得点することです。

- 1 全国レベルでの学力位置と成績変動を確認する
- 2 各教科の対策が必要な分野を確認し、今後の目標を立てる
- 3 志望校判定を確認し、目標との距離をチェックする(3年)
- 4 第1志望校合格に向けて優先的に補強すべき分野を読み取る(3年)

## 2年生 学部学科研究会の感想文より

講座名『温度と圧力の話』（鹿児島大学 理学部物理科学科 伊藤昌和准教授）（2年女子）

今回は気温から圧力まで、今までよく理解できていなかったことや、知らなかったことについて知ることができました。低温にしていくと電気抵抗が0になり、超伝導となる物質があるということを知り、  
「なぜ抵抗がなくなるんだろう」「なぜ超伝導になる物質とならない物質があるんだろう」などさまざまなことを考えながら講義を受けることができました。きっと大学に行けばもっと考えさせるようなことと出会って、その答えを見つけようとする過程でたくさんのことを学べるのだろうなあと思いました。

また、リニアモーターカーや高圧処理された卵やジャムの話は、私たちの生活にも関わりがあるので、こんなところに理学で学べるのが用いられているのだなあ興味深く聞かせていただきました。

普段の生活ではふれることのない液体窒素を使った実験では、普段からあまり関わりがないだけに予想もしない現象が起き、とても楽しく実験することができました。一番最初の実験では本当にいきなり電気抵抗が0になり、「おお！」という声もれてしまいました。楽しかったです。

今回の講義を進路選択の大事な材料にしたいと思います。

講座名『ゲームで学ぶ経営の基礎』（鹿児島県立短期大学 商経学科 宗田健一准教授）（2年男子）

僕は今回の講義で経営学についてよく知ることができた。最初は経営学のことなど何も知らず、僕には関係ない難しい話だろうと思っていたが、いつも受けているような授業ではなく、自分たちが動いて学ぶアクティブラーニングで学ぶことによって、授業の内容がとても分かりやすくスムーズに頭に入ってきた。グループで活動することで、今回のペーパータワーの目的であった高さ（利益）を出すための意見交換や話し合いが、より内容の濃いものになっていたのも勉強になったと思う。質疑応答のときに、経営学が会社のようなまだ僕たちとは縁の遠い存在のものだけではなく、身近なことに利用することでメリットとデメリットがはっきりするとおっしゃっていたのも経営学を身近に分かりやすく感じることもできた。

そして一番印象深かったのは、何か行動をするためにインセンティブを持つことが大事だとおっしゃっていたことだ。僕は日頃あまりインセンティブを持たずに過ごしているので、インセンティブを持ち、自分をより良くできるよう頑張っていきたい。

講座名『薬学について』（熊本大学 生命科学研究部 薬学系 大塚雅巳教授）（2年女子）

薬学について、今まで知らなかったたくさんのお話を教えていただきました。新しい薬を作ることを「創薬」と呼び、薬を使うことを「育薬」と呼ぶそうです。世界でたった100人しかいない病気の人々の薬は、製薬会社ではたくさんのお金がかかるため作れないということで、大学が国から助成金をもらって作っているという話を聞いて、大学の薬学部は本当に大切な場所なのだなと思いました。

また先生の研究所についてもお話をしてくださり、癌はもとは正常な細胞で、遺伝子が傷つくことで癌細胞になってしまうと聞いて驚きました。グラフでは、癌による死亡率だけが増えていたので、副作用の少ない効果のある薬が開発されたらとてもいいだろうなあと思います。熊本大学の薬学部には4年制と6年制があることなど、まだまだ知らないことが多かったので、今日は本当に勉強になりました。

講座名『私が教師を続けている理由』（鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科千々岩弘一教授）（2年女子）

今回この講義を聞いてとても印象的だったのが、千々岩先生のユニークさ、そしておもしろい話を交えたアドバイスでした。「1回落ち込め！」というアドバイスは意外なものでした。「1回落ち込んだ後の自分の視点の変化」を体験されたということで、大変興味深い話でした。また、「教育は信頼関係の中で成立する」という言葉もおもしろいと思いました。確かに、信頼関係がなければ生徒は授業を聞かないだろうし、教師においてはやる気が起こらないと思います。また、本題である教師を続けている理由は、「生徒が目を輝かせて自分の話を真剣に聞いてくれる」「自分が語ったり伝えたりすることで、生徒に影響を与えることができる」ということで、とても魅力的な話でした。この話の中で出てきた、「悪しくとも 渋柿を見よ 甘柿となる」という言葉にとても胸を打たれました。私も将来このように生徒一人一人を思うことができる教師になりたいです。最後に話された「何か一つでも熱中できることに時間を費やせ」「友達とたくさん語れ」という言葉も印象に残りました。今日はとても勉強になりました。

## 大学入試センター試験について

前期後半も始まり、いよいよ受験に向けた最後の追い込みの時期を迎えようとしています。夏季休業中は自分の意図する学習に取り組むことができたでしょうか。努力が結果に結びつくまでのこれからの数ヶ月、精神的にもきつい時期になるかも知れませんが、自分自身を信じて前に進んで欲しいと思います。

さて、前期期末試験終了後の翌日、9月3日（水）にセンター試験出願に関する合同LHRを実施します。事前に知っておいて欲しいこと、考えておいてもらいたいことを以下にまとめましたので、しっかり理解して、不明な点は事前に確認しておいてください。

### <センター試験の時間割と主な変更点>

- (1) 理科の試験時間帯が2つに分かれる（理科①（午前：基礎科目）、理科②（午後：専門科目））
- (2) 理科②の新課程科目と旧課程科目の問題冊子を別々に作成・配布 ⇒ 「試験室を別々に設定」  
⇒ 同一高校の志願者が別々の試験場に指定される場合あり（男女の別/「地歴・公民」「理科②」の受験科目数の組合わせ）

期 日	出題教科	試験時間	備 考
平成27年 1月17日（土）	地理歴史 公 民	2科目受験 9:30~11:40 1科目受験 10:40~11:40	※ 第1解答科目については志望校の指定確認
	国 語	13:00~14:20	
	外 国 語	<筆記> 15:10~16:30 <リスニング> 17:10~18:10	
1月18日（日）	理 科 ①	9:30~10:30	60分で2科目を選択解答 解答の順序は問わない。時間配分も自由。 解答用紙は1枚（表面に2科目分を解答） 新課程用と旧課程用問題合わせて1冊 ※ 選択科目の塗りつぶしの際は要注意！ 新課程用と旧課程用問題は別冊 （問題冊子は新旧いずれかを1冊配布） ※ 第1解答科目については志望校の指定確認
	数 学 ①	11:20~12:20	
	数 学 ②	13:40~14:40	
	理 科 ②	2科目受験 15:30~17:40 1科目受験 16:40~17:40	

- ※1 理科①で基礎科目を受験する場合、必ず2科目を受験しなければなりません。（1科目だけの受験はできません）
- ※2 地理歴史・公民、理科②の専門科目の科目数もセンター試験の出願の際に申請したとおりの科目数で受験します。  
（前半60分で解答する科目を「第1解答科目」、後半60分で解答する科目を「第2解答科目」と呼びます）
  - ・ 2科目受験者が、第1解答科目のみを受験して第2解答科目を受験せずに途中退出することは認められません。
  - ・ どの教科を第1解答科目にするかは、センター試験当日までに決定することになります。

※ 今年度のセンター試験では、変更点が少なくありません。「受験案内」（9/3配布）を熟読すること。  
最も注意しなければならないのは、今後、志望校が変更になったとしても、センター試験出願後に、受験パターンの変更はできないという点です。  
従って、現段階で、第1志望だけでなく、受験する可能性のある大学すべてについて、受験科目を確認しておく必要があります。（センター試験で思ったほどの点数が取れずに志望校を変更しなければならない可能性も考慮して、第2・第3志望を受験できる可能性を残す受験パターンを設定してください。）

地理歴史・公民：A（1科目受験） B（2科目受験） X（受験しない）  
理科①・理科②：A（理科①から2科目選択） B（理科②から1科目選択） C（理科①から2科目及び理科②から1科目選択）  
D（理科②から2科目選択）

### <センター試験の出願に関する注意点>

- (1) 大学入試センター試験に関しては、個人での出願はできません。提出期限等はきちんと守ること！  
※ 9月19日（金）までに検定料の振り込みを完了して、22日（火）までに「志願票」を提出することになります。  

3教科以上（成績開示）18,800円 / 2教科以下（成績開示）12,800円
---

 受験料振込は必ず、受付窓口で！
- (2) 「受験教科事前登録制」 ⇒ ① 受験教科名 ② 地理歴史、公民及受験科目数 ③ 理科の科目選択方法  
※ 出願時に登録した内容を出願後（試験当日を含む）に変更することはできません。志願者本人が記入します。
- (3) 「イヤホン不適合措置申請」 ※ 試験当日の申し出不可！注意（実物は英語の教科担当者が持っています）  
<申請手順> 鹿児島大学の入試担当窓口はその旨を申し出て、「イヤホン不適合措置申請書」に署名をもらう。  
⇒ 志願票（第Ⅱ面）の所定の欄に「申請書」を添付して出願